

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書の訂正報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第4項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年12月27日

【四半期会計期間】 第56期第3四半期(自平成25年5月1日至平成25年7月31日)

【会社名】 株式会社TASAKI

【英訳名】 TASAKI & Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 取締役・代表執行役社長(CEO) 田島 寿一

【本店の所在の場所】 神戸市中央区港島中町6丁目3番地2

【電話番号】 (078) 302 - 3321

【事務連絡者氏名】 取締役・専務執行役(CFO) 飯田 隆也

【最寄りの連絡場所】 神戸市中央区港島中町6丁目3番地2

【電話番号】 (078) 302 - 3321

【事務連絡者氏名】 取締役・専務執行役(CFO) 飯田 隆也

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成25年9月13日に提出いたしました第56期第3四半期(自平成25年5月1日至平成25年7月31日)四半期報告書の記載事項の一部を訂正する必要が生じたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

当社は第56期第3四半期において、退職給付制度の変更を実施いたしました。この制度の変更に関する会計処理につきまして、昨秋より会計監査人と確認をしながら進め、第56期第3四半期四半期報告書を提出いたしました。しかしながら、平成25年12月12日の決算短信提出後に、前払年金費用に関連した繰延税金負債の計上内容に訂正の必要性があることを認識いたしました。

その結果、第56期第3四半期連結累計期間の四半期純利益は145,715千円減少し、767,443千円となります。連結貸借対照表については、同額の純資産の減少となります。

本訂正は、退職給付制度の変更という特別な一時的事項に係るものであり、当社本来の事業活動に係るものではありません。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式(表示情報ファイルを含む)を提出いたします。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表につきましては、有限責任監査法人トーマツの四半期レビューを受けており、四半期レビュー報告書を添付しております。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析

(1) 経営成績の分析

(2) 財政状態の分析

第4 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

注記事項

(1株当たり情報)

3 【訂正箇所】

訂正箇所は__を付して表示しております。

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第55期 第3四半期 連結累計期間	第56期 第3四半期 連結累計期間	第55期
会計期間	自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日	自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日	自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日
売上高 (千円)	11,492,931	12,472,619	14,981,655
経常利益又は経常損失() (千円)	605,469	224,692	668,309
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失() (千円)	647,253	913,159	767,341
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	607,031	1,172,842	700,945
純資産額 (千円)	10,770,260	11,937,162	10,699,008
総資産額 (千円)	17,546,711	19,187,349	17,299,678
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期(当期)純損失金額() (円)	36.78	51.89	43.60
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	61.0	61.4	61.4

回次	第55期 第3四半期 連結会計期間	第56期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日	自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期純損失金額() (円)	19.48	38.10

(注) (省略)

(訂正後)

回次	第55期 第3四半期 連結累計期間	第56期 第3四半期 連結累計期間	第55期
会計期間	自 平成23年11月1日 至 平成24年7月31日	自 平成24年11月1日 至 平成25年7月31日	自 平成23年11月1日 至 平成24年10月31日
売上高 (千円)	11,492,931	12,472,619	14,981,655
経常利益又は経常損失() (千円)	605,469	224,692	668,309
四半期純利益又は四半期(当期) 純損失() (千円)	647,253	767,443	767,341
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	607,031	1,027,126	700,945
純資産額 (千円)	10,770,260	11,791,447	10,699,008
総資産額 (千円)	17,546,711	19,187,349	17,299,678
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期(当期)純損失金額() (円)	36.78	43.61	43.60
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	61.0	60.7	61.4

回次	第55期 第3四半期 連結会計期間	第56期 第3四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年5月1日 至 平成24年7月31日	自 平成25年5月1日 至 平成25年7月31日
1株当たり四半期純利益金額又 は四半期純損失金額() (円)	19.48	29.82

(注) (省略)

第2 【事業の状況】

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(訂正前)

(1) 経営成績の分析

当社グループでは、従来より重点的に進めておりますブランド戦略が引き続き着実に成果を表し、TASAKIブランドの艶やかでスタイリッシュなデザインがますます認知度を高めております。国内においては、昨年度に開店した大丸神戸店、東武池袋店、そして今年4月の丸井今井札幌本店、さらに6月には岩田屋本店にも出店するなど、新規店舗効果も加わりTASAKIブランドを代表する「コレクションライン」をはじめとした小売売上が好調に推移しております。

海外においても、韓国では3月に新世界百貨店京畿店へ出店、4月以降は期間限定店舗を各地で展開しており、また、中国では4月の上海外灘における旗艦店の開店に続いて、7月に上海港匯恒隆店を開店するなど、東アジアを中心に店舗展開を着々と進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は124億72百万円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益は2億80百万円（前年同四半期は4億93百万円の損失）、経常利益は2億24百万円（前年同四半期は6億5百万円の損失）、四半期純利益は9億13百万円（前年同四半期は6億47百万円の損失）となりました。また、当社グループの経営指標として重要視しておりますEBITDA（ ）は6億77百万円となりました。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + その他償却費 + 現金流出を伴わない費用

詳細につきましては、当社ホームページIR情報「株主・投資家様への説明資料」をご参照下さい。
(当社ホームページ：<http://www.tasaki.co.jp/>)

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

小売事業

小売事業につきましては、上述の通り百貨店売上が増加したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は95億36百万円（前年同四半期比10.4%増）、セグメント損失は2億56百万円（前年同四半期は8億59百万円の損失）となりました。

卸売事業

卸売事業につきましては、主にミャンマー産南洋真珠入札会が大きく寄与することにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は29億36百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は5億37百万円（前年同四半期比49.2%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ18億87百万円増加し191億87百万円となりました。なかでも、主に流動資産においては棚卸資産が14億16百万円増加し、投資その他の資産においては前払年金費用が4億4百万円増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ6億49百万円増加し72億50百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加5億70百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少20億54百万円、長期借入金の増加23億円、退職給付引当金の減少4億88百万円によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ12億38百万円増加し119億37百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の増加2億59百万円、利益剰余金の増加9億8百万円によるものであります。

(訂正後)

(1) 経営成績の分析

当社グループでは、従来より重点的に進めておりますブランド戦略が引き続き着実に成果を表し、TASAKIブランドの艶やかでスタイリッシュなデザインがますます認知度を高めております。国内においては、昨年度に開店した大丸神戸店、東武池袋店、そして今年4月の丸井今井札幌本店、さらに6月には岩田屋本店にも出店するなど、新規店舗効果も加わりTASAKIブランドを代表する「コレクションライン」をはじめとした小売売上が好調に推移しております。

海外においても、韓国では3月に新世界百貨店京畿店へ出店、4月以降は期間限定店舗を各地で展開しており、また、中国では4月の上海外灘における旗艦店の開店に続いて、7月に上海港匯恒隆店を開店するなど、東アジアを中心に店舗展開を着々と進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間におきましては、売上高は124億72百万円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益は2億80百万円（前年同四半期は4億93百万円の損失）、経常利益は2億24百万円（前年同四半期は6億5百万円の損失）、四半期純利益は7億67百万円（前年同四半期は6億47百万円の損失）となりました。また、当社グループの経営指標として重要視しておりますEBITDA（ ）は6億77百万円となりました。

EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + その他償却費 + 現金流出を伴わない費用

詳細につきましては、当社ホームページIR情報「株主・投資家様への説明資料」をご参照下さい。
(当社ホームページ：<http://www.tasaki.co.jp/>)

セグメントの概況は、以下のとおりであります。

小売事業

小売事業につきましては、上述の通り百貨店売上が増加したこと等により、当第3四半期連結累計期間の売上高は95億36百万円（前年同四半期比10.4%増）、セグメント損失は2億56百万円（前年同四半期は8億59百万円の損失）となりました。

卸売事業

卸売事業につきましては、主にミャンマー産南洋真珠入札会が大きく寄与することにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は29億36百万円（前年同四半期比2.8%増）、セグメント利益は5億37百万円（前年同四半期比49.2%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ18億87百万円増加し191億87百万円となりました。なかでも、主に流動資産においては棚卸資産が14億16百万円増加し、投資その他の資産においては前払年金費用が4億4百万円増加しております。

負債の部につきましては、前連結会計年度末と比べ7億95百万円増加し73億95百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金の増加5億70百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少20億54百万円、長期借入金の増加23億円、退職給付引当金の減少4億88百万円によるものであります。

純資産の部につきましては、前連結会計年度末と比べ10億92百万円増加し117億91百万円となりました。これは、主に為替換算調整勘定の増加2億59百万円、利益剰余金の増加7億63百万円によるものであります。

第4 【経理の状況】

(訂正前)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年5月1日から平成25年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年11月1日から平成25年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

(訂正後)

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間(平成25年5月1日から平成25年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年11月1日から平成25年7月31日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受け、四半期レビュー報告書を受領しております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,040,500	2,082,839
受取手形及び売掛金	629,475	604,581
たな卸資産	9,305,937	10,722,570
その他	1,108,630	1,237,127
貸倒引当金	5,215	6,307
流動資産合計	13,079,327	14,640,810
固定資産		
有形固定資産	2,669,798	2,599,831
無形固定資産	101,908	94,341
投資その他の資産	¹ 1,448,643	¹ 1,852,365
固定資産合計	4,220,350	4,546,538
資産合計	17,299,678	19,187,349
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	307,295	877,597
1年内返済予定の長期借入金	² 2,254,508	² 200,000
未払法人税等	38,548	29,292
賞与引当金	7,285	5,260
役員賞与引当金	7,900	-
資産除去債務	4,616	-
その他	619,728	960,189
流動負債合計	3,239,882	2,072,340
固定負債		
長期借入金	-	² 2,300,000
繰延税金負債	45,579	54,243
再評価に係る繰延税金負債	56,505	56,505
退職給付引当金	3,055,624	2,567,460
資産除去債務	169,832	177,780
その他	33,246	21,857
固定負債合計	3,360,787	5,177,846
負債合計	6,600,670	7,250,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	11,629,566	11,629,566
利益剰余金	73,038	835,896
自己株式	792,480	792,675
株主資本合計	10,864,047	11,772,787
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	89,879	94,103
為替換算調整勘定	340,491	80,808
その他の包括利益累計額合計	250,612	13,295
新株予約権	85,572	151,079
純資産合計	10,699,008	11,937,162
負債純資産合計	17,299,678	19,187,349

(訂正後)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,040,500	2,082,839
受取手形及び売掛金	629,475	604,581
たな卸資産	9,305,937	10,722,570
その他	1,108,630	1,237,127
貸倒引当金	5,215	6,307
流動資産合計	13,079,327	14,640,810
固定資産		
有形固定資産	2,669,798	2,599,831
無形固定資産	101,908	94,341
投資その他の資産	¹ 1,448,643	¹ 1,852,365
固定資産合計	4,220,350	4,546,538
資産合計	17,299,678	19,187,349
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	307,295	877,597
1年内返済予定の長期借入金	² 2,254,508	² 200,000
未払法人税等	38,548	29,292
賞与引当金	7,285	5,260
役員賞与引当金	7,900	-
資産除去債務	4,616	-
その他	619,728	960,189
流動負債合計	3,239,882	2,072,340
固定負債		
長期借入金	-	² 2,300,000
繰延税金負債	45,579	199,958
再評価に係る繰延税金負債	56,505	56,505
退職給付引当金	3,055,624	2,567,460
資産除去債務	169,832	177,780
その他	33,246	21,857
固定負債合計	3,360,787	5,323,561
負債合計	6,600,670	7,395,901
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	11,629,566	11,629,566
利益剰余金	73,038	690,181
自己株式	792,480	792,675
株主資本合計	10,864,047	11,627,072
その他の包括利益累計額		
土地再評価差額金	89,879	94,103
為替換算調整勘定	340,491	80,808
その他の包括利益累計額合計	250,612	13,295
新株予約権	85,572	151,079
純資産合計	10,699,008	11,791,447
負債純資産合計	17,299,678	19,187,349

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
売上高	11,492,931	12,472,619
売上原価	4,840,503	4,931,656
売上総利益	6,652,427	7,540,962
販売費及び一般管理費	7,145,536	7,260,555
営業利益又は営業損失()	493,108	280,407
営業外収益		
受取利息	2,280	5,246
為替差益	-	179,594
工事負担金等受入額	13,294	13,294
雑収入	21,512	25,829
営業外収益合計	37,087	223,964
営業外費用		
支払利息	127,076	127,537
借入手数料	-	135,000
為替差損	12,654	-
雑損失	9,716	17,141
営業外費用合計	149,447	279,679
経常利益又は経常損失()	605,469	224,692
特別利益		
固定資産売却益	1,393	851
退職給付制度終了益	-	850,961
新株予約権戻入益	-	1,527
特別利益合計	1,393	853,341
特別損失		
固定資産除売却損	1,823	56,021
減損損失	8,781	39,385
特別退職金	-	20,196
その他	320	-
特別損失合計	10,926	115,604
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	615,002	962,429
法人税、住民税及び事業税	39,921	40,770
法人税等調整額	7,670	8,499
法人税等合計	32,251	49,270
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	647,253	913,159
四半期純利益又は四半期純損失()	647,253	913,159

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
売上高	11,492,931	12,472,619
売上原価	4,840,503	4,931,656
売上総利益	6,652,427	7,540,962
販売費及び一般管理費	7,145,536	7,260,555
営業利益又は営業損失()	493,108	280,407
営業外収益		
受取利息	2,280	5,246
為替差益	-	179,594
工事負担金等受入額	13,294	13,294
雑収入	21,512	25,829
営業外収益合計	37,087	223,964
営業外費用		
支払利息	127,076	127,537
借入手数料	-	135,000
為替差損	12,654	-
雑損失	9,716	17,141
営業外費用合計	149,447	279,679
経常利益又は経常損失()	605,469	224,692
特別利益		
固定資産売却益	1,393	851
退職給付制度終了益	-	850,961
新株予約権戻入益	-	1,527
特別利益合計	1,393	853,341
特別損失		
固定資産除売却損	1,823	56,021
減損損失	8,781	39,385
特別退職金	-	20,196
その他	320	-
特別損失合計	10,926	115,604
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	615,002	962,429
法人税、住民税及び事業税	39,921	40,770
法人税等調整額	7,670	154,215
法人税等合計	32,251	194,985
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	647,253	767,443
四半期純利益又は四半期純損失()	647,253	767,443

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	647,253	913,159
その他の包括利益		
土地再評価差額金	7,131	-
為替換算調整勘定	33,090	259,682
その他の包括利益合計	40,222	259,682
四半期包括利益	607,031	1,172,842
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	607,031	1,172,842
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失()	647,253	767,443
その他の包括利益		
土地再評価差額金	7,131	-
為替換算調整勘定	33,090	259,682
その他の包括利益合計	40,222	259,682
四半期包括利益	607,031	1,027,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	607,031	1,027,126
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(1株当たり情報)

(訂正前)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	36円78銭	51円89銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	647,253	913,159
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	647,253	913,159
普通株式の期中平均株式数(株)	17,598,481	17,597,885
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの 概要		

(注) (省略)

(訂正後)

1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年7月31日)
1株当たり四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()	36円78銭	43円61銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額()(千円)	647,253	767,443
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額又は 四半期純損失金額()(千円)	647,253	767,443
普通株式の期中平均株式数(株)	17,598,481	17,597,885
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの 概要		

(注) (省略)

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年12月26日

株式会社TASAKI
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 和田 朝 喜

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 岡 本 健 一 郎

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社TASAKIの平成24年11月1日から平成25年10月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間(平成25年5月1日から平成25年7月31日まで)及び第3四半期連結累計期間(平成24年11月1日から平成25年7月31日まで)に係る訂正後の四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社TASAKI及び連結子会社の平成25年7月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は、四半期連結財務諸表を訂正している。なお、当監査法人は、訂正前の四半期連結財務諸表に対して平成25年9月12日に四半期レビュー報告書を提出した。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。